

赤ちゃんポストと 呼ばないで

～熊本慈恵病院の取り組み～



令和元年

6月29日(土)

午後2時～4時

講師：ノンフィクション作家 小川陽子氏

小竹町在住、『ゆりかごにそっと～熊本慈恵病院「こうのとりのゆりかご」に託された母と子の命』の編集を担当。主な著書に『親の認知症が心配になったら読む本』など。

場所：小竹図書館 2階会議室

対象：一般(中学生以上)

定員：30名(事前申込制)

申込み：小竹図書館カウンターおよび電話にて
☎5995-1121



ゆりかごに
そっと

熊本慈恵病院
「こうのとりのゆりかご」に
託された母と子の命
蓮田太二
監修 熊本慈恵病院理事長

「赤ちゃんポスト」と呼ばないで。
ここは、幸福への
出発点です!

日本にあるベビーボックスは「こうのとりのゆりかご」ただ一つ。72歳の医師が「こうのとりのゆりかご」を開いて10年、あらゆるバッシング、危機に耐え、130人の命を救ってきた。

2007年、熊本慈恵病院の蓮田太二理事長が、日本で初めてベビーボックス「こうのとりのゆりかご」を設立しました。その後10年間に預けられた赤ちゃんは約130人。巷では“赤ちゃんポスト”と呼ぶ人もいて、賛否両論の中、苦難を乗り越えて運営されてきました。今回、『ゆりかごにそっと～熊本慈恵病院「こうのとりのゆりかご」に託された母と子の命～』の編集を担当した小川陽子氏を招いて、設立の経緯や取り組み、今後の課題などのお話をうかがいます。本に収録できなかったエピソードなども交え、子供の貧困の根源など、現代の日本が抱える社会問題について考えてみませんか？